

標 題 : Mediterranean dietary pattern and risk of breast cancer.
地中海食事パターンと乳がんのリスク

著 者 : E. Couto, et al. (スウェーデン カロリンスカ研究所
医学的疫学・生物統計学科)

掲 載 誌 : PLoS One. 2013; 8(2): e55374.

要 旨 :

背 景 : 地中海食事は健康と長寿に対して広く認められている有益な効果を有し、
複数のがんに対して予防的な影響がある。
しかし、乳がんリスクのとの関連はまだ明らかでない。

目 的 : 地中海食事パターンの順守が乳がんリスクと関連するかどうかを、研究する
ことを我々は目的とした。

計 画 : 「スウェーデン女性の生活様式と健康」コホート研究は 1991-1992 年の募集
で 30 から 49 歳の女性 49,258 人を登録している。
食品および飲料の摂取を、登録時に食品頻度アンケートを使用して測定した。
地中海食事スコアを、アルコール、野菜、果物、豆類、穀物、魚、不飽和と
飽和の脂肪の比率、および乳製品と肉製品の摂取に基づいて構成した。
このスコアと関連する乳がんおよび特定の腫瘍の特徴(侵襲性、組織型、エスト
ロゲン/プロゲステロン受容体の状態、悪性度および病期)の相対リスク(RR)
を、潜在交絡因子を調整した Cox 回帰を用いて推計した。

結 果 : 1,278 件の乳がん発症が診断された。
地中海食事パターンの順守は、乳がん全体のリスク低下とも特定の乳がんの
特徴とも統計的に関連しなかった。
地中海食事スコア 2 点上昇と関連する乳がんの RR(95%信頼区間)は、女性全
体で 1.08(1.00-1.15)、閉経前女性は 1.10(1.01-1.21)そして閉経後女性では 1.02
(0.91-1.15)であった。
アルコールを地中海食事スコアから除外したときも、結果は統計的に有意に
ならなかった。

結 論 : 比較的若い女性のこのコホートで、地中海食事パターンの順守は乳がんリス
クを低下させなかった。
